

指導のねらい

与えられた条件を基に、図と文章を対応させて筋道を立てて考えられるようにする。

課題の見られた問題の概要と結果

B ② (1) 本立ての部品の図を見て、どのような長方形かを書く。

正答率 32.0%

(辺の長さ15cm, 20cmを求めることができた児童は, 33.9%)

学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 C 図形 (平成20年告示)

(1) ものの形についての観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素に着目し、図形について理解できるようにする。

イ 正方形, 長方形, 直角三角形について知ること。

〔第5学年〕 C 図形 (平成20年告示)

(1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、平面図形についての理解を深める。

イ 図形の合同について理解すること。

授業アイディア例

※ 算数の問題 B ② (1) を提示する。

《主な学習内容・活動》

● (え) について分かることを話し合い, 整理する。

(▶▶▶ は, 分かること)

● 板の□の部分について分かることを話し合い, 整理する。

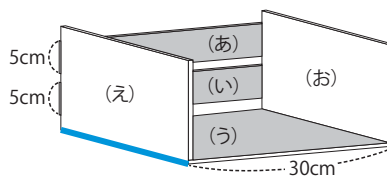
● 板の□の部分に, 切る線をかき入れる。

● (え) がどのような長方形かを言葉で表現する。

問題文や図を基にして、長方形(え)について分かることを整理しましょう。

- ① 【図1】から、(え)の辺(—)の長さは、(う)の辺(—)の長さと同じ。
- ② 【図2】から、(う)の辺(—)の長さは、 $30 - 5 - 5$ で 20cm。
- ▶▶▶ (え)の辺(—)の長さは、20cm。

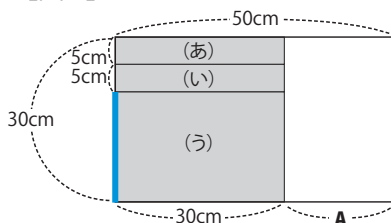
【図1】



板の□の部分をもどのように切ればよいかを考えます。
板の□の部分について分かることを整理しましょう。

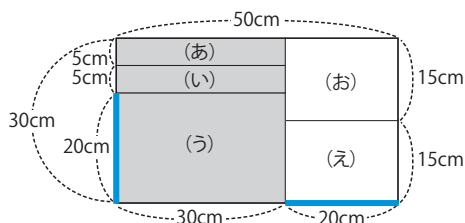
- ③ 【図2】から、Aの長さは $50 - 30$ で 20cm。
- ▶▶▶ 板の□の部分は、たて30cm, 横20cmの長方形。

【図2】



- ④ 問題文「板の□の部分はあまりが出ないように切って、合同な2つの長方形(え), (お)を作ります。」
- ▶▶▶ 板の□の部分は、半分に切る。

板の□の部分切る線をかき入れて、(え)がどのような長方形かを言いましょう。



(え)の辺(—)の長さは20cmで、Aと同じです。
だから、左の図のように切ります。
(え)のたての辺の長さは、 $30 \div 2$ で 15cm です。

(え)は、たて 15cm, 横 20cm の長方形です。

留意点

- 複数の図を見比べて分かることを整理したり、得られた長さを図に書き入れたりして考えられるようにする。
- 辺を表す言葉と形を表す言葉を用いて、図形を表現できるようにする。